

# 取組事例 農村地区と都市部との交流や学生「有給インターンシップ」による人の呼び込み (江別市)

江別市では、新たな体験・交流施設を拠点に「食」と「農」の魅力を活かした取組を展開するほか、若者の地元定着と地域の担い手確保を目的とした就職支援強化の取組により、市内外から人を集め、地域全体の活性化を目指している。

## 関連数値目標・KPI

	基準値 (H26)	実績 (H27)	目標値 (H31)	進捗率 (%)
グリーンツーリズム関連施設の利用者数	485,790人	528,866人	505,400人	104.6
市内企業へ就職した市内の新卒者(高校・大学)	45人	55人	250人 (5年間累計)	22.0

## 取組事例 産業・雇用の観点から人を集める取組

### 1. 「食」と「農」による学びと活力の創出

○江別の「食」と「農」の魅力を発信し、農村地区と都市部との交流活性化を目的とした新たな体験・交流拠点施設「えみくる」がH29.4にオープン



- 主な設備
- ・6次産業化に取り組む農業者や中小企業による試作品の研究開発・製造が可能な「テストキッチン」
  - ・「調理実習室」や「多目的広場」等の体験・交流スペース

・農畜産物加工品の開発から販路拡大までを担う「6次産業化」の推進による新たな消費拡大  
 ・イベント、セミナー、レクリエーションの開催による市内外からの誘客促進

### 2. 「有給インターンシップ」制度の展開による就職支援強化

○市内4大学（札幌学院大学、酪農学園大学、北翔大学、北海道情報大学）の学生を対象に「有給インターンシップ」を実施し、学生に市内企業の良さを認識してもらい、将来の就職へと結びつける機会の場を提供



- ①事前登録  
 ※登録学生：53人(H27)→69人(H28)  
 ※登録企業：14社(H27)→28社(H28)
- ②事前研修～基礎知識の習得
- ③受託者（人材派遣会社）による企業と学生とのマッチング
- ④企業での実務経験（インターンシップ）



市内大学生の市内企業への就職率アップを目指す